



2023 年 11 月 2 / 日

紹介議員

氏 名

須藤 京子

高嶋 基樹

大森 和夫

件 名

エリザベスさんに在留特別許可を求める意見書提出
に関する請願

請願者 代表者

住 所 茨城県笠間市

氏 名

電話番号

ほか 973 人

牛久市議会議長

諸橋太一郎 様

1. 件 名

エリザベスさんに在留特別許可を求める意見書提出
に関する請願

2. 請願の要旨

牛久市議会として、法務省および出入国在留管理庁に対して、牛久市
在住のオブエザ・エリザベス・アルウォリオさんに在留特別許可を
求める意見書を提出すること。

3. 請願の理由

茨城県牛久市に住むエリザベスさんは難民申請中の仮放免者です。来日して32年になりますが、いまだに在留許可を得られていません。仮放免者は労働が許可されず、健康保険にも入れず、許可なしには県外に移動もできません。

そのような不自由不安定な身分でありながら、エリザベスさんは入管に収容されている他の外国人や仮放免者を力付けるために日々活動しています。書類書きを手伝い、物品を差し入れ、病院や弁護士事務所に付き添い、通訳し、時には家族の代わりに治療同意書にサインするなど、多岐に及ぶ支援活動に日常のほとんどの時間を捧げています。彼女自身も深刻な持病を患い支援を必要としているにもかかわらず、人を助けることに持てる力を全てつぎ込んで暮らしています。東日本入国管理センター（牛久入管）にさえ頼りにされているのが、エリザベスさんなのです。そのエリザベスさんが一番求めているのは日本の在留許可です。

エリザベスさんは現在、2回目の難民申請中です。今年6月に成立した入管法が施行されると、エリザベスさんに強制送還の危険性が高まります。もし強制送還された場合、ビアフラ先住民のナイジェリアからの独立運動に携わるエリザベスさんを待っているのは、即逮捕と処刑です。

仮に難民申請が認められなくても、エリザベスさんに「人道配慮に基づく在留特別許可」を与えるよう、牛久市議会としての意見書を、法務省および出入国在留管理庁に提出してください。地元からの声が国を動かす一番の力になります。よろしくお願いします。

オブエザ・エリザベス・アルオリウォさんに在留特別許可を求める意見書（案）

茨城県牛久市に住むナイジェリア出身のオブエザ・エリザベス・アルオリウォさんは難民申請中の仮放免者である。来日して32年になるが、いまだに在留許可を得られていない。エリザベスさんは仮放免者という不自由不安定な身分でありながら、入管に収容されている他の外国人や仮放免者を力付けるために日々活動している。書類書きを手伝い、物品を差し入れ、病院や弁護士事務所に付き添い、通訳し、時には家族の代わりに治療同意書にサインするなど、多岐に及ぶ支援活動に日常のほとんどの時間を捧げている。彼女自身も深刻な持病を患い支援を必要としているにもかかわらず、人を助けることに持てる力を全てつぎ込んで暮らしている。

エリザベスさんは現在、2回目の難民申請中であり、もし、難民認定が得られず強制送還された場合、ナイジェリアからの独立運動に携わるビアフラ先住民のエリザベスさんを待っているのは、逮捕と処刑である。すでに全国の市民による、エリザベスさんに「人道配慮に基づく在留特別許可」を求める請願が法務大臣ならびに出入国在留管理庁長官に提出されており、1日も早い在留特別許可が待たれている。

牛久市議会としても、エリザベスさんに「人道配慮に基づく在留特別許可」が与えられるよう、求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

牛久市議会